

【PDF ファイル作成ガイドライン】

(ア) はじめに

Adobe®PDF (Portable Document Format) は、Adobe 社 (<http://www.adobe.co.jp/>) により開発・提供されている電子文書のファイル形式で、Web で広く利用されています。Windows、Macintosh 等、主要なプラットフォームにおいて表示および印刷が可能です。

原稿は、閲覧・検索・印刷の対象として幅広く活用されることを想定しています。従って、PDF ファイルは、画像情報のみではなく、テキスト情報を含むものとします。

(イ) 作成手順

- (1) 原稿を作成するソフトを用いて文字・画像 (図・表・写真等) をレイアウトします。投稿する原稿の種類に応じた執筆要領に従ってください。編集時にページ番号を記入しないように注意してください。
- (2) レイアウトが決まったら、PDF へ変換するためのソフト「Adobe 社 Acrobat4.0 以上」を用いて、出力の設定を行い、PDF ファイルに変換します。
- (3) PDF ファイルを紙面に印刷し、元原稿と比較します。

(ウ) 作成手順

PDF ファイルは以下の仕様として下さい。

- a. 互換性のある形式の設定
Acrobat4.0 以上を指定すること。
- b. ファイルサイズの設定
A4 版 6 枚 3.0MByte 程度を目安とします。
ページ毎の制限は設けませんが、1 枚 500Kbyte が目安です。
- c. フォントの設定
(基本フォント)
以下の 5 種を基本フォントとします。
Windows : MS 明朝、MS ゴシック、Times New Roman
Macintosh : 細明朝、中ゴシック、Times

(フォントの埋め込み)

PDF ファイル作成の際は、必ず全てのフォントの埋め込みを行ってください。

(フォントの埋め込みを行わなかった場合には、出来上がった論文を読者が閲覧する際に

文字化けが生じてしまう場合があります。なお、埋め込みを行うとファイルサイズが若干増大します。Windows：MSP 明朝、MSP ゴシックの使用は不具合が生じる報告を受けております、特にご注意ください。

* フォントの埋め込みについての詳細は、下記「PDF ファイル作成手順」を参照ください。

(機種依存文字使用の留意点)

機種依存文字の中で特に注意が必要なものとしては、丸書き数字、ローマ数字、全角一文字での複合文字などがあります。これらの使用には十分ご注意ください。特に Windows 系および Macintosh 系の OS を使用している場合には、機種依存文字および JIS 第 2 水準を越える漢字を使用においてはご注意ください。

内容の都合上、外字・旧字・数式の使用がどうしても必要な場合は、ビットマップ画像にて埋め込みを行ってください。ただし、この場合、全文検索ができなくなるとともに、ファイルサイズが大きく増大します。

機種依存文字の例(これらの文字は使用しないでください)

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㊀㊁㊂㊃㊄㊅
I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix x
ミリ キ センメーグ ラト アーヘクリツワツカロド センバニミリベニ
リ ロチ トルム ンル タルトルト リオド ルト セントブルジ mmcmkmmgkg cc m²
平成 // No.KK.TEL(株)(有)(代)明治大正昭和

d. 画像の解像度の設定

モノクロ画像は 100dpi 程度、カラー画像は 300dpi 程度を推奨します。大きなカラー画像を配置すると著しくファイルサイズが増大しますのでご注意ください。

ただし、論文情報上必要な場合この限りではありませんが、最終的なファイルサイズを確認してください。

PDF ファイル情報の設定について

ページ番号等を学会で挿入しますので、パスワード等のセキュリティ設定は行わないでください。「印刷」・「テキストとグラフィックの選択」・「文章の変更」・「注釈とフィールドの追加と変更」等は許可としてください。また、しおり・サムネールは設定しないでください。PDF 内のリンク（たとえば、論文内の注釈へのリンクなど）は差し支えありませんが、外部リンク（Web ページ、メールなど）は行わないでください。